

- ▶ 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をととして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- ▶ 令和3年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- ▶ また、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。
- ▶ さらに、木材利用の普及啓発の一環として市立図書館において、関連図書を整備しました。

□ 事業内容

子どもたちと体験するSDGs事業

- ・ 間伐材等を利用した木工細工体験教室で椅子などを製作して区役所内で活用するほか、身近な自然での森林環境教育につながるオンラインイベントを開催した。

【事業費】 5,750千円（うち譲与税5,750千円）

【実績】 ひがしなり環境・SDGs体験フェスタ 申込み 83組



□ 事業スキーム

公募型プロポーザル事業

□ 工夫・留意した点

- ・ 子どもたちが、身近なまちの中にある自然に触れ、自然の多様性を感じる・学ぶ体験型イベントの開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染急拡大により、急きょオンラインイベントに切替えた。
- ・ 希望者には事前に、どんぐり工作とひのきにおい消しのキットを送付し、当日オンラインで実演を行った。
- ・ 体験型イベントで利用できなかった木製品について区役所で利用し区民への木材製品の利用促進、森林や林業に関する理解促進に寄与するものにした。

□ 基礎データ

①令和3年度譲与額	236,228千円
②私有林人工林面積（※1）	0.00ha
③林野率（※2）	0.00%
④人口（※3）	2,752,412人
⑤林業就業者数（※4）	62人

※1、2：「2020年農林業センサス」より、※3：「R2年国勢調査」より、※4：「H27年国勢調査」より